

札幌

ひきこもり当事者ら対象 交流会のパンフ完成

「よりどころ」の活動内容などが載っているパンフレット



©北海道新聞社

札幌市が開催している、ひきこもり当事者や家族らによる交流会「よりどころ」のパンフレットが完成した。市内公共施設などに置いている。

A4判三つ折りで、7千部作成。月4回ずつ開いている当事者の会と家族の会の内容、開催日時・場所、参加者の声を掲載している。当事者向けメタバース(仮想空間)、家族向けオンラインでの開催内容も紹介している。

市内の当事者は約2万人と推計される。「よりどころ」は市がNPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク(田中敦理事長)に運営を委託して2018年度に始めた。ひきこもり経験者としてアドバイスする「ピアスタッフ」がいるのが特長で、市の精神保健福祉士も定期的に相談員として参加する。

田中理事長は「ピアスタッフが運営する居場所是全国的に珍しく、対等な目線、対話重視で進めている。ただいりだけでよく、ぜひ足を運んで」と話す。問い合わせは札幌こころのセンター、電話011・622・5190へ。(鈴木雅人)